様式３(2020.08改)

作成日　令和　２年　９月　７日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2396300036
事業所名	グループホーム豊根の家

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	コロナ禍で1月の花祭り、4月桜まつりなど地域行事は参加できませんでしたが、それでも地域の皆さんの事業所愛は変わらずで、「初ものなので食べて」との心遣いや、野菜やアイスのおすそ分けが続いています。マスクが手に入りにくい時期には、手作りマスクが利用者、家族全員分が家族から届き、愛知県社会福祉協議会は生活用品・飲料水、設楽の関谷酒造からは消毒用アルコール液などの寄贈が沢山あります。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	
	運営推進会議は3月、5月は外部者が集まることを避け、管理者がデータや活動状況を書面にまとめ、「何か意見や質問があればお願いします」と添えてメンバーに送付しています。7月には何とか再開でき、郵送した3月、5月分について話し合うほか、「コロナ禍で災害にあったらどうするか」についても協議され、「避難所は難しい」として法人及び母体施設と相談のうえ、法人内での施設移動と決まり、一安心です。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	
	役場課長へとつながる防災連絡網が築かれてもいて、管轄行政には日頃から何かと応援を得ています。仮にコロナ感染者がでた場合、消毒するための費用について見積もりのうえ予算を組んでくださるとのことで、建物図面に照らして住民課に床面積などを申告したほか、「フェイスシールドなど必要なものがあればいつでも貸し出しますよ」と親身な対応とともに、コロナに係る貴重な情報を入れてもらえています。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	
	3月からは「訪問自体を自粛」してもらい、5月には「駐車場でなら」とし、緩和予定だった7月もやはり無理として「玄関先」と状況に応じて変更、その度に家族に連絡を重ねています。自宅へ自由に行き来していた人は、「孫がくるで会いたい」と強く希望があったため孫には駐車場まで来てもらうことしたりと、本人の意向に沿うようにしてはいますが、介護計画書にも位置付けた散歩が思うようにならず（出ると人気のある場所に行きたいとなるため）　対応に行き詰まっています。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		◎

【備考欄】

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	―	―	―	―	―	―	○	○	○	○	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	◎										